

業種	情報通信業
活用分野	社内コミュニケーション
テクノロジー	UC、音声システム統合、ソフトフォン

## 次世代コミュニケーション基盤でフリーアドレス化

トヨタグループでの豊富な実績をもとに自動車産業のIT化をサポートしているトヨタデジタルクルーズは、本社PBXの交換タイミングを踏まえ、拠点ごとに異なっていたPBXを統合し、新しい音声設備を導入した。

すでに利用していた「Lync」サーバとエス・アンド・アイのコミュニケーション基盤「uniConnect3」を連携させ、音声(電話)、

チャット、メール、プレゼンスなどを統合的に活用できるユニファイドコミュニケーション(UC)環境を構築した。

オフィス内はオール無線化によりフリーアドレスに。役職や職務に応じて、スマートフォン、フィーチャーフォン、PCによるソフトフォン、固定IP電話を使用し、一人1台1番号(050番号)とした(対象者は550人)。社内外どこにいても、部署や拠点の

異動があっても、担当者の名前を選べば通話が可能となる。

事前にプレゼンス(在席中か否か)を確認し、電話やチャットなど最適なコミュニケーション手段を選べるので、連絡や相談をスムーズに行える。また、外線電話の取次業務も不要になった。

LyncとuniConnect3の連携には、Connectorを新開発。Lyncから取得した社員リストやプレゼンスなどの情報を電話番号情報と連携し、スマートフォンなどに表示させている。

ワークスタイルの変革や仕事の効率化により、導入の初期費用は2年で回収できる見込みだという。

運用においては、「Active Directory」を用いて社員情報を一元管理している。

図 UC環境を実現しワークスタイルを変革

